

令和8年度武蔵野市下水道事業会計予算

(総則)

第1条 令和8年度下水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

- (1) 年間有収水量 16,352,664立方メートル
- (2) 1日平均有収水量 44,802立方メートル
- (3) 主要な建設改良事業
 - ア スtockマネジメント推進事業（改築等（委託）） 224,150千円
 - イ スtockマネジメント推進事業（改築（工事）） 249,838千円

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収 入	
第1款 下水道事業収益	3,150,704千円
第1項 営業収益	2,613,089千円
第2項 営業外収益	537,613千円
第3項 特別利益	2千円
支 出	
第1款 下水道事業費用	3,114,222千円
第1項 営業費用	2,936,664千円
第2項 営業外費用	175,557千円
第3項 特別損失	1千円
第4項 予備費	2,000千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額429,804千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額24,804千円並びに過年度分損益勘定留保資金405,000千円で補填するものとする。）。

収 入	
第1款 資本的収入	797,567千円
第1項 企業債	398,800千円

第 2 項	出資金	25,098千円
第 3 項	補助金	193,155千円
第 4 項	負担金等	180,513千円
第 5 項	固定資産売却代金	1 千円

支 出

第 1 款	資本的支出	1,227,371千円
第 1 項	建設改良費	857,195千円
第 2 項	固定資産購入費	330千円
第 3 項	企業債償還金	368,846千円
第 4 項	予備費	1,000千円

(企業債)

第 5 条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の 目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
下水道 事業	398,800 千円	証書借入れ又は 証券発行の方法 による。 起債の時期は令 和 8 年度とす る。ただし、そ の全部又は一部 を翌年度以後に 繰り越し、起債 することができる。	5.0パー セント 以内	借入れの時から据置期間 を含め、40年以内の償還 とする。ただし、財政そ の他の都合により、据置 期間及び償還期間を短縮 し、若しくは繰上償還 し、又は低利に借り換え ることができる。その他 償還については、借入先 の融資条件に従う。

(一時借入金)

第 6 条 一時借入金の限度額は、1,000,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第 7 条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、営業費用と営業外費用との間における流用と定める。

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第 8 条 職員給与費(217,252千円)については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

令和 8 年 2 月 24 日 提出

東京都武蔵野市長 小美濃 安 弘